

事務事業評価表(新規事業)

コード 2-7-2	事務事業名 保谷庁舎改修工事	所管部課 総務部保谷庁舎管理課
--------------	-------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的 保谷庁舎の改修をすることにより、庁舎の耐久性を向上させるとともに、より快適で有効的に活用することを目的とする。	総合計画上の位置づけ (政策)協働で拓くまちづくり (施策)健全な自治体経営の推進(協2-3) (主要施策)田無庁舎・保谷庁舎の整備
	実施内容、実施方法 保谷庁舎の防水改修については昭和63年度及び平成元年度にそれぞれ庁舎及び別棟について改修を行って以来、防水を実施していないため、各所で大雨のたびに雨漏りが発生している。このため、平成17年度には屋上の改修を行った。平成18年度に外壁の改修を行うものである。	根拠法令等 なし
	事業開始時期 平成 18 年度	実施形態 <input type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他()

評価指標の設定	活動指標名 雨漏り補修件数	活動指標の考え方(定義) 改修工事の際に行った雨漏り補修の件数
	成果指標名 改修の進捗率	成果指標の考え方(定義) 予定に対する改修の進捗度合

事務事業データ (平年度・最終年度見込み)		単位	18年度	19年度	20年度	目標	18 年度
	事業費(A)		45,073	0	0		45,073
	国庫支出金	千円					
	都支出金						
	地方債						
	その他						
	一般財源		45,073				45,073
	所要人員(B)	人	0.02				0.02
	人件費(C)=平均給与×(B)	千円	167	0	0		167
	総コスト(D)=(A)+(C)	千円	45,240	0	0		45,240
単位当たりコスト (E)=(D)/(雨漏り補修件数)	千円	1,028.17	0	0		1,028.17	
歳入	千円						
活動指標	件	44				44	
活動指標							
成果指標	%	100				100	
成果指標							

事業環境	事務事業の課題・問題点	
	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	
	国・都・他市・民間等 における類似事業	
	運営上の制約条件・ 外部要因等	

コード 2-7-2	事務事業名 保谷庁舎改修工事	所管部課 総務部保谷庁舎管理課
--------------	-------------------	--------------------

事業所管部評価	必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 :法律等で市が実施すべきと定められている。市が主体的に実施すべき事業である。 <input type="checkbox"/> 中 :行政による実施が義務付けられている。市が主体的に実施すべき事業かどうか検討する余地がある。 <input type="checkbox"/> 低 :市の実施が義務付けられておらず、国・都・民間・類似事業などで代替可能であるが、市民要望が強い。 理由: 大雨のたびに3～5階の北側廊下及び西側非常階段の雨漏りがあり、またその他の箇所でもしばしば雨漏りが発生する状況である。躯体の維持及び適切な庁舎環境の確保のため、防水改修が必要である。
	緊急性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 :法律等により実施時期が定められている。または来年度実施しないと事業の意味が失われる。 <input type="checkbox"/> 中 :来年度の実施が強く求められている。 <input type="checkbox"/> 低 :実施時期を検討する余地がある。 理由: 平成17年度に保谷庁舎の屋上改修工事を実施し、引き続き平成18年度に外壁の防水改修を実施することで、一連の防水改修の効果が発揮される。また、躯体を確実に維持するためにも、早期の改修が求められる。
	有効性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 :事業の目的を達成するために必要不可欠である。 <input type="checkbox"/> 中 :事業の目的を達成するために有効である。他の手段・方法を検討する余地はある。 <input type="checkbox"/> 低 :事業の目的を達成するために有効とはいえないが、現状では他の手段・方法がない。 理由: 躯体の長期的な維持管理の費用対効果がある。
	効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 高 :投入経費等に見合う実績・成果をあげることが十分に想定される。 <input type="checkbox"/> 中 :投入経費等に見合う実績・成果をあげられる見込みである。 <input type="checkbox"/> 低 :投入経費等に見合う実績・成果をあげられるとは限らないが代替手段がない。 理由: 適正なコストによる委託契約を行う。

事業目標達成時の展望(所管部)	事業実施プラン(事業の展開内容、事業費の内訳、所要人員の考え方、その他)
	保谷庁舎については昭和63年及び平成元年度にそれぞれ庁舎及び別棟の防水改修を行って以来、本格的な防水改修を実施していないため、各所で大雨のたびに漏水が発生しているこのため全面的に保谷庁舎の防水改修を実施することで、雨漏りとカビの発生を抑えられる。引いては、雨漏り等によるクラックの増加を防止し、躯体の耐久年数を伸ばすことができる。 庁舎外壁改修工事 46,095千円 (1人×50日+1人×100日)/230日 0.65人
	財源の確保(新規事業の実施に当たり、見直しを図る既存事業等)

行革本部評価	緊急性はやや低く、今後の財政状況や事業の優先度を勘案しつつ実施時期を検討する。
--------	-----------------------------------------